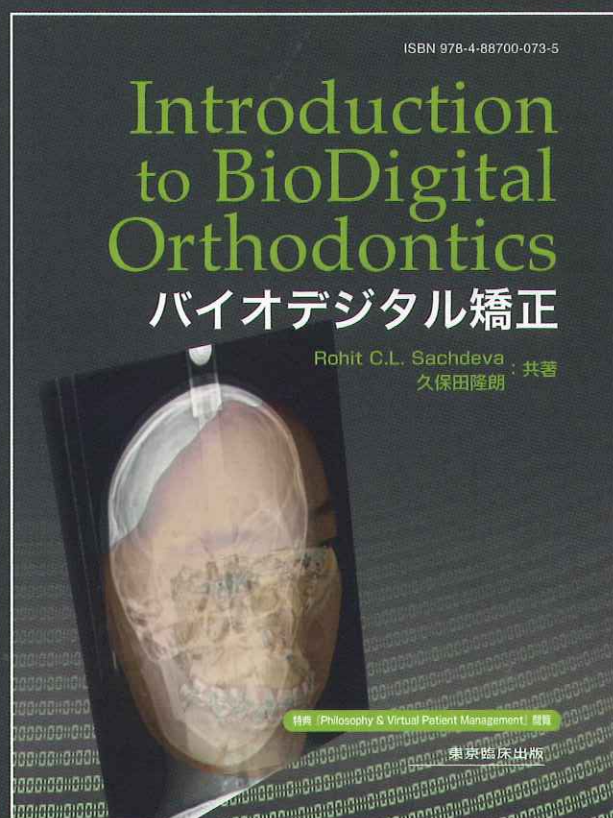


バイオデジタル矯正—初の成書！

Introduction to BioDigital Orthodontics

バイオデジタル矯正

Rohit C.L. Sachdeva、久保田隆朗：共著



Introduction to BioDigital Orthodontics
バイオデジタル矯正

Rohit C.L. Sachdeva、久保田隆朗＝共著

■A4判変型 / フルカラー / 326ページ

定価：22,000 円＋税

三次元情報によるカスタマイズ治療

現在、デジタル機器の発展には目を見張るものがあり、日常生活において欠かせないもののひとつになってきている。矯正治療においても、その流れは確実に浸透してきている。10年前のデジタル矯正治療は、精度的に、臨床に直接応用するには、まだまだ遠いものと思われた。しかし、5年前、アメリカのsuresmile学会に出席した際、驚愕の事実を目の当たりにした。すでにデジタルを応用した矯正治療が日常臨床で行われていたのである。しかも、人間の手技よりはるかに緻密なワイヤーバンドがロボットにより行われており、その創設者のRohit C.L. Sachdevaに会い、バイオデジタルによる矯正治療について話を伺った。

デジタルを応用することで、今までの材料中心の矯正治療から、診断、治療方針を中心とした、術者の利便性ではなく患者主体の治療へと変革することができる。すなわち、CBCTを応用すれば、今まで観察することのできなかつた歯根、歯槽骨まで考慮した矯正治療を行うことができ、シミュレーションすることで先を見越した治療、さらに、いつでも好きな場所からバーチャルの患者を観察でき、術者間の話し合いも容易にできるのである。

本書を通じ、デジタルを応用した画期的なバイオデジタル矯正治療を実感していただければ幸いである。

久保田隆朗

(本書「発刊に寄せて」より抜粋、要約)

特典「Philosophy & Virtual Patient Management」閲覧

お申し込みはお出入りの歯科商店、または(株)ロッキーマウンテンモリタ、(株)モリタまで。

三次元モデルの画像をふんだんに、わかりやすく解説一。

《基礎編》BioDigital矯正の現状と展望

〔I〕治療計画の立案

診断と3Dによる治療方針決定のためのバイオデジタル支援システム
まとめ

〔II〕カスタマイズ治療とマネジメント

バイオデジタル矯正によるカスタマイズ治療
術後評価
まとめ

《臨床編》BioDigitalシステムによる治療体系

〔I〕I級症例

- Fast-Track® 6カ月プロトコル
症例〔1〕Fast-Track® 6カ月プロトコル
症例〔2〕Fast-Track® 6カ月プロトコル
- Standard Track® 9カ月プロトコル
症例〔1〕Standard Track® 9カ月プロトコル
症例〔2〕Standard Track® 9カ月プロトコル

バイオデジタル矯正による抜歯空隙閉鎖の戦略

- 症例〔1〕抜歯空隙閉鎖のプロトコルA
症例〔2〕抜歯空隙閉鎖のプロトコルC

まとめ

空隙閉鎖に伴う副作用

- 症例〔1〕抜歯症例(1)
症例〔2〕抜歯症例(2)

〔II〕II級症例

- II級不正咬合患者へのバイオデジタル矯正の適応
- II級不正咬合治療の臨床的ガイドライン

症例〔1〕II級1類プロトコルA症例

II級非抜歯症例への応用例

- 症例〔1〕II級1類非抜歯症例
症例〔2〕過蓋咬合、左側臼歯の交叉咬合を伴うII級1類非抜歯症例
症例〔3〕過蓋咬合を伴うII級2類非抜歯症例

II級抜歯症例への応用例

- 症例〔1〕II級1類抜歯症例
症例〔2〕上顎左側第二小臼歯が埋伏したII級抜歯症例
症例〔3〕過蓋咬合と上下顎重度の叢生を伴うII級2類抜歯症例

まとめ

〔III〕III級症例

- 症例〔1〕III級混合歯列前期症例
症例〔2〕開咬と上下顎重度の叢生を伴う骨格的III級抜歯症例

まとめ

〔IV〕開咬症例

開咬症例の治療計画の立案

効率的で効果的な開咬症例の治療

- 症例〔1〕上下顎前突、下顎前歯の空隙を伴う骨格的III級開咬非抜歯症例
症例〔2〕上顎の重度の叢生を伴うII級開咬抜歯症例
症例〔3〕顔面高の長い骨格的III級開咬症例
症例〔4〕骨格的II級開咬抜歯症例

〔V〕側方ディスクレパンシー(正中偏位)

適切な治療計画の必要性

- 症例〔1〕上下顎中等度の叢生を伴うI級正中偏位非抜歯症例
症例〔2〕右側II級正中偏位抜歯症例

限界を考慮した現実的な治療

- 症例〔1〕右側II級正中偏位抜歯症例
症例〔2〕左側II級正中偏位抜歯症例

まとめ

〔VI〕顎変形症(顎矯正手術)

- バイオデジタルによる治療計画
- バイオデジタルによるカスタマイズ治療
Fusionテクニックによる顎変形症の改善

症例〔1〕骨格性III級症例(1)

Direct CBCTによる顎変形症の改善

症例〔1〕骨格性III級症例(2)

Orascanによる顎変形症の改善

症例〔1〕III級顔面非対称症例

〔VII〕他のシステムとの併用

バイオデジタル矯正によるリンガルブラケットと可撤式suresmile
Minor Tooth Movement治療

- 症例〔1〕I級症例(リンガルブラケット治療)
症例〔2〕可撤式SSMTM装置を用いたI級症例

《応用編》BioDigital矯正とsuresmileシステム

〔I〕バイオデジタルによるCBCTを用いた新たな矯正治療の夜明け

- 矯正診断ツールの変遷
 - suresmileでCBCTを使用する際の注意点
 - CBCTイメージの診断における正確性
 - バイオデジタルとCBCTによる治療計画
- まとめ

〔II〕suresmileシステムの治療効果

治療期間の短縮と個々の歯の移動精度

- 文献検索
- オーラスキャナーの計測精度
- 治療期間の短縮(Efficiency)
- 治療結果のクオリティ(Effectiveness)
- 治療の“質”の新しい評価方法

まとめ

〔III〕バイオデジタル矯正による変革

バイオデジタルによるマネジメント

- 従来の治療予測
- 三次元画像の取得
- 二次元分析の限界
- 三次元分析による新たな展開
- 矯正歯科医およびスタッフの変化
- コミュニケーションの変化
- 矯正歯科医の研鑽
- 設備投資
- クラウドシステム

まとめ

Introduction to BioDigital Orthodontics 「バイオデジタル矯正」(申込書)

お名前	
歯科医院名 (大学名)	電話 —
お届け先	〒 —